

JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2012年8月20日
JAM熟練技能継承推進室

大阪でも幅広く技能指導を展開

～中小企業従業員や工科高等学校生徒を熱心に指導～

平成24年度、大阪では中小企業2社、工業系の高等学校（府立工科高校と市立工業高校）10校（うち定時制工科高校1校）が熟練技能者の指導を受ける計画であり、7月までに2社・8校が延べ59日間指導を受けている。

堺市にある化学・薬品・食品プラントなどを手掛けているK社では、「機械・プラント製図」を高度熟練技能者の浅河壮太郎さんに指導を受けている。



<K社での「機械製図」の指導風景>

鋳造用金型製作などを手掛けているM社では、普通旋盤2級の資格取得をすべく、同じく浅河壮太郎さんの指導を受けている。同社では、従業員教育に力を注ぐ社長が今回の指導のために汎用旋盤を購入するという力を入れようだ。



<M社での「普通旋盤」の指導風景>

大阪府立城東工科高等学校では、3年生4名がフライス盤3級の技能検定の指導を受けている。指導するのは、今年度から指導者として協力いただいている高度熟練技能者の飯田力さん。「教える人は“何故”を教えることが大切」と、指導者としての考え方をしっかり持っている。右の写真は、加工したものを測定・評価する様子。



<城東工科高校での指導風景>

大阪府立藤井寺工科高等学校では、2年生11名が普通旋盤3級の技能検定の指導を、熟練技能者の生野邦彦さんから受けている。生野さんは、安全教育をしっかりしたうえで、旋盤加工の基本操作や精度を出すための手順などを熱心に指導している。



<藤井寺工科高校での指導風景>